

冬の「山田池公園」自然観察会 (活動報告書)



《実施日》 令和2(2020)年1月24日(金) 《天候》 曇り 担当: 6班
 《場所》 大阪府立「山田池公園」(枚方市)
 《目的》 冬の植物観察&野鳥観察
 《参加人数》 76名
 《行程》 JR学研都市線藤阪駅(10:00 出発)⇒山田池公園南入口(観察について説明) 10:15
 4グループに分かれて観察開始 10:30⇒

Aグループ(岡田先生案内…植物観察)
 Bグループ(鳥井さん案内…野鳥観察)
 Cグループ(安達さん案内…野鳥観察)
 Dグループ(前野さん案内…野鳥観察)

南入り口⇒東入り口⇒梅林・もみじ谷・花木園・水生花園⇒水辺広場 12:00(昼食・
 班長会議・集合写真)⇒北入り口⇒野鳥観察場・クイズ広場・展望広場・山田池大橋
 ⇒パークセンター (14:40 解散)



ソシンロウバイの花



トチノキの冬芽と葉根



シナマンサクの花芽



モチノキの花芽



トサミズキの花芽



アカメヤナギの冬芽



ラクウショウの球果



ミコアイサ



オオバン



ハシビロガモ



シメ



シジュウカラ



ジョウビタキ



モズ

《所感》

そら組では数回、観察会を実施している山田池公園だが、今回は植物観察組と野鳥観察組とに分かれてスタート。植物観察では、南入り口辺りに咲く2種類のロウバイについて、内側の花被片が濃い紫色の蠟梅と花被片全体が黄色くなる素心蠟梅の説明を受け、観察コースを歩く。落葉した樹形の美しい冬ならではの景色の中、主に冬芽、実、枝などを観察。芽吹く前の彩りの無い林の中で、紅梅の鮮やかさが際立っていたが、膨らんだ蕾や開きかけた白梅の花の香りと姿にも感嘆の声があがっていた。 +

野鳥観察は3グループに分かれて20人弱での行動は活動しやすく、様々な野鳥を観察でき、楽しい時間を過ごすことができた。ただ、天気がさらに良かったら、もっと美しい野鳥の姿が観られたのではないと思う。今回の山田池公園の自然観察会は、野鳥の群れに心とませ、充実した一日だった。広大な山田池公園の中心となる山田池は、1200年前の築造と言われる貴重なため池として、「日本の歴史公園100選」に選定されているが、長い年月を経て、公園内は自然観察の活動場所として、豊かな自然を残していた。

☆観察した植物名・野鳥名については、次頁に記載しています。



山田池公園自然観察会

令和2(2020)年1月24日 10:30~14:30

観察記録: 6班

《観察した植物リスト》 観察総数61種(木本54種 草本6種 キノコ1種)

南入口～	花・実	ロウバイ	花・実	ソシンロウバイ	実	サンシュユ
	実・葉	クロガネモチ	実・葉	タイサンボク	冬芽	コブシ
	実	ユリノキ	冬芽	マンサク	実・葉	モチノキ
	冬芽	ソメイヨシノ	実・翼	モミジバフウ(アメリカフウ)	冬芽	トチノキ
	実	サルスベリ	葉	ヤマモモ	実・葉	ラクウショウ
	維管束	セイヨウハコヤナギ	花	オオイヌノフグリ(草本)		
東入口～	冬芽	オオシマザクラ	花芽	トサミズキ	実	ネムノキ
	実	トキワサンザシ	冬芽	トキワマンサク	枝・翼	ニシキギ
	花・葉	サザンカ	葉	コナラ	葉	クヌギ
	花	ウメ(紅)	花	ウメ(白)		
水辺広場～	樹形	アカメヤナギ	葉	チガヤ(草本)	実	センダン
	花	モチツツジ	葉	ヤマコウバシ	葉	アラカシ
北入口～	花	ハンノキ	葉柄	ワジュロ	葉	クルマムグラ(草本)
	幹	シラカシ	全体	キクラゲ(キノコ)	幹・葉	シイ
	蔓・葉	テイカカズラ	裸芽	アジサイ	葉・樹	ヒノキ
	実	ハナズオウ	実	ジュズダマ(草本)	樹形	ウツギ
	実	フユイチゴ	葉	クサイチゴ	樹形	イイギリ
	冬芽	イロハモミジ	樹形	ヒマラヤスギ	幹	エノキ
	葉	ノボタン	実	カラスウリ(草本)	花	ヒマラヤザクラ
西入口～	実・葉	シナヒイラギ	冬芽	コセンダングサ(草本)	樹皮	ユーカリ
	実	ブラシノキ	葉・実	ミモザ	気根	ラクウショウ

《観察した野鳥リスト》 観察総計38種(水鳥18種 山鳥20種)



水鳥	アオサギ	オオバン	オシドリ
	カイツブリ	カルガモ	カワウ
	カワセミ	カンムリカイツブリ	コガモ
	コサギ	セグロセキレイ	ダイサギ
	ハシビロガモ	バン	ヒドリガモ
	ホシハジロ	マガモ	ミコアイサ
山鳥	アトリ	ウグイス	エナガ
	カワラヒワ	キジバト	キセキレイ
	コイカル	コゲラ	シジュウガラ
	シメ	ジョウビタキ	スズメ
	セグロセキレイ	ハクセキレイ	ハシブトガラス
	ハシボソカラス	ヒヨドリ	メジロ
	モズ	ルリビタキ	

*その他 ヌートリア